

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 59099553 A

(43) Date of publication of application: 08 . 06 . 84

(51) Int. Cl.

G06F 9/46

G06F 3/00

(21) Application number: 57208863

(71) Applicant: NEC CORP

(22) Date of filing: 29 . 11 . 82

(72) Inventor: AKASHI MINEO

## (54) INTERRUPTION CONTROL SYSTEM

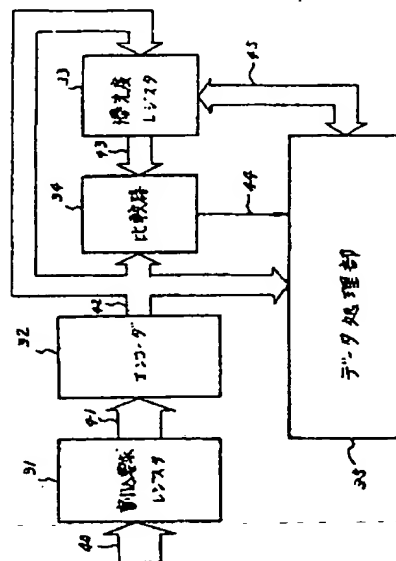
interruption signal lines increases.

## (57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&amp;Japio

**PURPOSE:** To increase the number of interruption signals without increasing circuits greatly by providing a priority register which is stored with the priority of an interruption program being executed and a means which discriminates between the priority on the register and the priority on a generated interruption signal.

**CONSTITUTION:** The interruption signal 40 is stored in an interruption request register 31. A priority register 33 is stored with the priority on an interruption program being executed by a data processor at present. An encoder 32 selects the interruption given with top priority in the encoder 32 on the basis of the output information 41 of the interruption request register 31 and generates interruption code information 42. This interruption code information is compared by a comparator 34 with the output information 43 of the priority register 33 and the comparator 44 generates an interruption start signal 44 when judged that its priority is higher than the priority on the interruption being processed. Thus, interruption control is performed through the simple constitution even when the number of



## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—99553

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 06 F 9/46  
3/00

識別記号  
1 0 1

庁内整理番号  
B 7218—5B  
C 7165—5B

⑬ 公開 昭和59年(1984)6月8日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 7 頁)

## ⑭ 割込制御方式

東京都港区芝五丁目33番1号日  
本電気株式会社内

⑮ 特 願 昭57—208863  
⑯ 出 願 昭57(1982)11月29日  
⑰ 発 明 者 明石峰雄

⑮ 出 願 人 日本電気株式会社  
東京都港区芝5丁目33番1号  
⑰ 代 理 人 弁理士 内原晋

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

割込制御方式

## 2. 特許請求の範囲

データ処理装置が処理中の割込プログラムの優先度をコード化して記憶する優先度レジスタと、該優先度レジスタに記憶される優先度と発生割込信号の優先度を判別する手段を備え、前記発生割込信号の優先度が前記優先度レジスタに記憶される優先度より高いとき前記優先度レジスタ記憶値を過越したのち所定の値に更新し割込プログラム処理を開始することを特徴とする割込制御方式。

## 3. 発明の詳細な説明

〔発明の属する技術分野〕

本発明は、マイクロコンピュータなどのデータ処理装置の割込処理を制御する方式に関し、特に割込の優先度を管理して割込処理中にさらに割込

を行う多重割込の割込制御方式に関するものである。

〔技術環境〕

割込とは、優先度が高い処理要求がある時、データ処理装置が実行中のデータ処理を中断して処理要求に対応するプログラムの処理を開始し、そのプログラム処理が終了したならば中断したデータ処理を再開することである。

一般に割込を実現するためには、処理の優先度を判別して割込を起動する方式と中断したデータ処理を再開するための方式が必要で、本発明は前者の方式に関する。後者に関しては、中断されたプログラムのアドレス情報をスタックに記憶して割込プログラム終了時にスタックから復帰させるなど各種の方式が提供されている。

マイクロコンピュータなど集積回路化されたデータ処理装置は、プログラムにより演算・判断などの多様な処理が可能で、多くの分野で、演算・判断に基づく制御を行うコントローラに応用されている。

この制御への応用では、機械系からの検出信号などリアルタイムで何らかの制御を必要とする信号に基づき、割込して時間応答が問題となる処理を実行している。

割込処理によれば、単一のデータ処理装置で、複数の作業を優先度に応じて切替えながら実行でき、即時性を損うことなく並列処理が可能であるため、機械制御の応用では、割込を起動する信号数の増加が望まれており、さらに割込プログラムの処理中により優先度の高い処理を割込させる多重割込の制御が必要とされている。

#### 〔従来技術〕

従来、多重割込の制御は、次に述べる割込信号の優先度を管理する手段により実現されている。

第1図はかかる従来の多重割込制御方式を用いる回路構成を示すブロック図である。従来の割込制御方式は、割込信号が発生したことを記憶する割込要求レジスタ1とデータ処理装置がサービス中の割込信号に対応する情報を記憶する割込処理中レジスタ2と割込要求レジスタ1と割込処理中

割込処理中レジスタ2の出力情報12とを優先信号選択回路3にて比較・判別して最も優先度の高い信号を選択して出力し、同時に選択した信号に対応するビットの割込要求レジスタ1をリセットする。

前記動作により発生した割込信号中最も優先度が高いものが選択され、優先度が低く選択されなかった割込信号は割込要求レジスタ1に記憶されて、上位優先度の割込サービスが終了するまで保留されることになる。

前記優先信号選択回路3の出力信号13は、データ処理装置の割込プログラム起動と多重割込の優先度管理に使用される。割込プログラムの起動は、選択出力信号13に基づき、エンコーダ4にて割込プログラムの開始番地情報14が、割込検知回路5にて検知信号15が発生され、データ処理部6が検知信号15により割込発生を知らされると、実行中のプログラム処理を中断して再開のために、中断するプログラム番地情報などを追跡させた後に、前記番地情報14に対応する割込プロ

グラム2からの情報を判別し最も優先度の高い割込信号を選択する優先信号選択回路3と優先信号選択回路3で選択された信号の割込サービスプログラム開始番地情報を発生するエンコーダ4と優先信号選択回路3で割込信号が選択されたことを検知する割込検知回路5とエンコーダ4と割込検知回路5からの情報に基づき割込プログラムを処理するデータ処理部6とを用いて構成される。

なお、第1図中、10はデータ処理装置に割込を要求する入力信号、11は割込要求レジスタ1の出力情報、12は割込処理中レジスタ2の出力情報、13は優先信号選択回路3で選択された割込信号情報、14はエンコーダ4の出力情報及び15は割込検知回路5の検知出力信号を示し、検知信号15以外の信号(11~14)は複数ビット線の信号である。

従来の割込制御方式では、割込信号10の複数ビット信号中いずれかが発生するときに発生信号に対応するビットの割込要求レジスタ1をセットして、その割込要求レジスタ1の出力情報11と

グラム処理を開始することによりなされる。

多重割込の優先度管理は、前記割込プログラム起動と同時に選択出力信号13に対応するビットの割込処理中レジスタ2をセットして、その処理中の割込を示す出力情報12により処理中の割込より優先度が低い割込要求を保留させることによりなされる。

なお、データ処理部が割込プログラム処理を終了して中断したプログラムの再開するとき、割込処理中レジスタ2のセットされているビット中で最も優先順位が高いものがリセットされ、割込プログラム処理開始前の状態に復帰する。ここで、割込要求レジスタ1に保留されていた優先順位の低い割込は、復帰した割込処理中レジスタ2の記憶値に基づき判別・選択されて、先に述べたと同様のシーケンスにてデータ処理部6に割込プログラム処理の起動をする。

多重割込制御には、同時に発生した複数の割込信号から最も優先度が高い信号を選択し、データ処理装置がサービス中のプログラムの優先度と比

較して割込の起動または保留を判別する手段が必要である。第1図に示す従来の割込制御方式では、優先信号選択回路3が前記判別を行っている。

以下、優先信号判別回路3の構成を示す第2図を参照しながら説明する。第2図は割込信号が4種類の場合に於ける優先信号判別回路3の構成を示すもので、7個の反転回路1と4個のアンドゲート(G1~G4)から成り4本の割込要求レジスタ出力信号(11a~11d)と4本の割込処理中レジスタ出力信号(12a~12d)を入力として4本の割込選択信号(13a~13d)を出力する。ここで信号に付けられるアルファベットは割込信号の種類に対応しaからdの順番で割込優先度が高いことを示している。改めて説明するならば、11aは最も優先度の高い割込要求レジスタの出力信号で、12aはそれに対応する割込処理中レジスタ出力信号で、13aはその割込を選択した時発生される出力信号であり、他の信号も同様に対応している。

各反転回路1は割込要求レジスタ出力信号(

レジスタ出力信号12aおよび第2の優先度の割込処理中レジスタ出力信号12bを入力とする反転回路出力に加え、第2の優先度の割込要求レジスタ出力信号11bの4信号を入力として、第2の優先度の割込を選択したことを示す信号13bを出力する。ここで、第2のアンドゲートG2の出力13bは、第2の優先度の割込要求レジスタがセットされて、最優先の割込が発生してなく、またそれをサービス中でなく、さらに自身をサービス中でない時に発生される。

第3のアンドゲートG3と第4のアンドゲートG4も同様に各割込優先度に対応して、その優先度より高いすべての割込要求レジスタ出力信号および自身を含んで優先度が高いすべての割込処理中レジスタ出力信号を入力とする反転回路出力に加え各割込要求レジスタ出力信号を入力として各割込を選択したことを示す信号を出力する。つまり、第3のアンドゲートG3は6信号を入力として第3の優先度の割込を選択したこと、第4のアンドゲートG4は8信号を入力として第4の優先

度(11a~11d)または割込処理中レジスタ出力信号(12a~12d)のいずれか1信号を入力として真逆値が反転した信号を出力する。この動作は、割込要求レジスタ1または割込処理中レジスタ2がセットされていない。つまり、リセット状態であることを示す信号を出力するもので、この反転回路1の出力と各レジスタ信号を入力としてアンドゲートG1~G4は発生している割込信号中の最も優先度の高い信号の選択を行う。

第1のアンドゲートG1は最も優先度の高い割込要求レジスタ出力信号11aとその割込処理中レジスタ出力信号12aを入力とする反転回路出力の2信号を入力としてその割込を選択したことを示す信号13aを出力する。ここで、第1のアンドゲートG1の出力13aは、最も優先度が高い割込要求レジスタがセットされて、その割込処理中レジスタがリセット状態つまり自身の割込をサービス中でない時に発生される。

第2のアンドゲートG2は、最優先の割込要求レジスタ出力信号11a、最優先の割込処理中レ

度の割込を選択したことを示す信号を発生する。

以上説明したとおり、従来の多重割込制御方式は、割込信号数の2倍弱の反転回路数を必要とし、割込信号数の2倍の入力数のアンドゲートが存在する回路構成を必要とする複雑な判別・選択回路が必要で、割込信号数に対応するビット長のサービス情報レジスタが必要なため、割込信号数を増加させた場合回路規模が増大し、割込信号数を多くしたいという要求を満足させることが困難であるという欠点を有している。

#### 〔発明の目的〕

本発明の目的は、前述の欠点を除去することにより、割込信号数が増加しても回路数の増加しにくい回路構成を用いることのできる割込制御方式を提供することにある。

#### 〔発明の構成〕

本発明の方式は、データ処理装置が処理中の割込プログラムの優先度をコード化して記憶する優先度レジスタと、該優先度レジスタに記憶される優先度と発生割込信号の優先度を判別する手段を

備え、前記発生割込信号の優先度が前記優先度レジスタに記憶される優先度より高いとき前記優先度レジスタ記憶値を過渡したのち所定の値に更新し割込プログラム処理を開始することからなっている。

〔実施例の説明〕

以下、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

第3図は本発明の一実施例の方式を用いる回路構成を示すブロック図である。

割込信号が発生したことを記憶する割込要求レジスタ31と、割込要求レジスタ31からの情報に基きコード化した情報を発生するエンコーダ32と、データ処理装置が処理中の割込プログラムの優先度を記憶する優先度レジスタ33と、エンコーダ32と優先度レジスタ33からの情報に基き割込起動の判別を行なう比較器34と、エンコーダ32と比較器34からの情報に基き割込プログラムを処理するデータ処理部35とから構成される。なお、40はデータ処理装置に割込を要

求する割込入力信号、41は割込要求レジスタ31の出力情報、42はエンコーダ32の出力情報、43は優先度レジスタ33の出力情報、44は比較器34の割込起動信号及び45はデータ処理部35と優先度レジスタ間の転送情報を示し、第1図と同様に割込起動信号44以外の信号(40から43と45)は複数ビット幅の信号である。

次に、この実施例の動作を説明する。

割込信号40の複数ビット信号中のいずれかが発生するときに発生信号に対応するビットの割込要求レジスタ31をセットして、その割込要求レジスタ31の出力情報41に基きエンコーダ32にて最も優先度が高い割込を選択して、その信号に対応する割込コード情報42を発生する。

この割込コード情報42と優先度レジスタ33の出力情報43とを比較器34にて比較・判別してサービス中の割込より優先度が高いと判断する時に割込起動信号44を発生する。

データ処理部35は、割込起動信号44にて割

込の起動を知らされると、従来のものと同様に実行中のプログラム処理の中断、再開のための情報の過渡させた後、前記割込コード情報42に対応する割込プログラム処理を開始する。

ここで、優先度レジスタ33の記憶値は、データ処理部35が再開のために中断するプログラムの番地情報などを過渡するのに同期して、データ処理部35にてとり込まれて記憶され、割込プログラム処理の開始に同期して、割込コード情報42に対応する値に更新され、優先度レジスタ33の出力43は常にデータ処理装置がサービス中の割込プログラムの優先度を示すことになり、以後に発生される割込信号は、このサービス中の優先度と比較してより優先度が高ければ割込を起動し、低ければ保留の制御がなされる。

なお、データ処理装置が割込プログラム処理を終了して中断したプログラムを再開するとき、データ処理部35に記憶されていた以前の優先度レジスタ値が転送され、割込プログラム処理開始前の状態に復帰する。

多重割込の制御では、割込プログラムを処理するのは単一のデータ処理装置であるため発生された割込信号中の最も優先度が高い信号1個を選択して、その優先度とデータ処理装置がサービス中の割込プログラムの優先度を比較して割込の起動または保留を決定すれば良い。

ここで優先度が高い割込信号1個を選択することは、選択信号より優先度が低い割込信号を選択しないことに通じ、各割込信号が選択された意味の情報においては排他的でありコード化して情報のビット数を減少できることになり、制御回路の減少の効果が期待できる。

この実施例では、エンコーダ32により割込要求レジスタ31からの情報41をコード化して優先度管理と割込プログラム起動のための情報42を発生している。

第4図は、割込信号数が4種類の場合に於けるエンコーダ32の回路構成を示し、3個の反転回路(11~13)と、3個のアンドゲート(A1~A3)と、2個のオアゲート(U1, U2)

第 1 表

入 力				出 力		
41a	41b	41c	41d	42a	42b	42c
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	1
0	0	1	x	0	1	0
0	1	x	x	0	1	1
1	x	x	x	1	0	0

xは論理値が1, 0いずれでも良いことを示している。

エンコーダ回路の入力信号(41a~41d)がすべて論理値0である場合出力コードは2進法表現で0となり、最も優先度が低い入力信号41dが論理値1でそれより上位優先度の入力信号(41a~41c)がすべて論理値0である場合出力コードは1となり、下位から2番目の優先度の入力信号41cが論理値1でそれより上位の優先度の入力信号41aと41bが論理値0である場合出力コードは2となり、下位から3番目の優先

度から成り、4本の割込要求レジスタ31からの情報(41a~41d)を入力としてコード化された3本の情報(42a~42c)を出力する。なお、割込要求レジスタ31からの情報は、41aを最高優先度の信号としてアルファベット順で優先度の重みづけがされており、回路出力42a, 42b, 42cは2進コード化されてそれぞれ $2^3 (=4)$ ,  $2^1 (=2)$ ,  $2^0 (=1)$ の重みづけがされている。

第4図の回路は、一般にプライオリティエンコーダと呼ばれる回路で、重みづけされた入力信号の優先度に対応して、ある優先度の信号が論理値1であるとき、それより優先度が低い信号によるコード情報発生を抑止する回路接続がされている。

第1表は、第4図のエンコーダ回路の入力と出力の関係を示すための真理値表で、表中の1または0は該信号の論理値を示し、以下全日

度の入力信号41bが論理値1で最上位優先度の入力信号41aが論理値0である場合出力コードは3となり、最上位優先度の入力信号41aが論理値1の場合下位優先度の入力信号(41b~41d)がどのような論理値であっても出力コードは4となる。これによって、発生された割込信号中の最も優先度が高い信号1個が選択され対応するコード化情報が出力される。

前述の優先度が高い信号を選択しながらコード化する動作は、従来の割込制御機構の複雑な優先信号選択回路を不要にし、さらに、割込プログラムの開始番地を決定するために従来でもエンコーダ回路(第1図中の4)が必要であったことから、割込制御機構の回路規模を削減するのに効果を発揮することは明らかである。

さらに、第3図のエンコーダ回路32にて割込制御に関する情報がコード化され信号線数(ビット幅)が減少することは、比較器34および優先度レジスタ33などの回路を縮減させる効果も期待できる。

この実施例では、割込プログラムの処理を開始するか、割込要求を保留するのかの判別は比較器34にて行われる。比較器34は、一般にマグニチュードコンパレータと呼ばれる回路で、コード化された情報値の大小関係を比較するもので、エンコーダ32のコード化出力情報42が優先度レジスタ33の記憶情報43より大であるならば、割込起動信号44を発生する。

この実施例では、エンコーダの出力情報を割込プログラム処理の開始時に優先度レジスタ33に記憶させており、前記起動信号発生条件はデータ処理装置が処理中の割込プログラムの優先度より発生された割込信号の優先度が高い場合に等価である。

前述のように、コード化された割込優先度情報を記憶して多重割込の優先度管理をすることにより、割込信号の種類が増加しても比較器34および優先度レジスタ33の回路は増加しにくい構造のものが得られる。例として示すならば第4図に示すエンコーダ回路は4本の入力信号に基づき3本

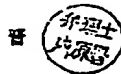
のコード化された情報を発生しているが、3本で表現できる2進化コードの5から7の3種類は未使用で、割込信号がさらに3種類増加した場合に割込要求レジスタとエンコーダ部分の回路は増加するが、エンコーダ出力以後は信号数は増加しない。これは、従来の割込制御方式の割込信号の増加に対応して全部の回路が増加することと比較して大きな利点である。

また、実施例は割込信号と優先度のコードを1対1に対応させるものであったが、本発明はデータ処理装置がサービス中の割込プログラムの優先度を記憶させることを特徴にしており、複数の割込信号が同等の優先度であるならば同一コードを与えることが可能であり、サービス中の割込の優先度と発生した割込信号の優先度の判別も比較器によらずとも、記憶する優先度コードを解読してその解読信号に基き発生割込信号の伝達を抑制するゲートを付加するなど他の回路でも実現できる。

〔発明の効果〕

31……割込要求レジスタ、32……エンコーダ、33……優先度レジスタ、34……比較器、35……データ処理部、40……割込入力信号、41……割込要求レジスタ出力情報、42……エンコーダ出力情報、43……優先度レジスタ出力情報、44……割込起動信号、45……データ処理部と優先度レジスタ間の伝送情報、11～13……反転回路、A1～A3……アンドゲート回路、O1、O2……オアゲート回路、41a～41d……割込要求レジスタ出力情報、42a～42c……エンコーダ出力情報。

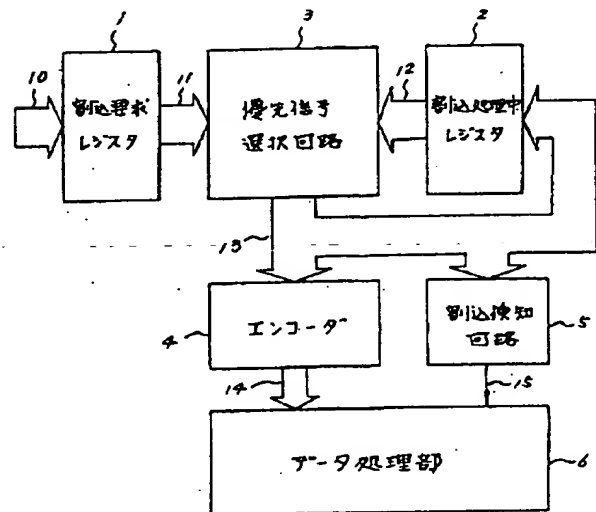
代理人 弁理士 内 原 晋



以上詳細に説明したとおり、本発明は、データ処理装置がサービス中の割込プログラムの優先度をコード化して記憶する優先度レジスタを備えて多重割込を制御することを特徴としている。従って本発明によれば、従来のように複雑な回路を必要とせず、単純な回路によって発生した割込信号の優先度とサービス中の割込プログラムの優先度を比較して割込起動の判別ができ、さらに優先度レジスタに記憶する優先度は従来の割込信号に1対1に対応するものと異なり2進コード化することができるため、従来回路より少ない量の回路で構成でき、割込信号数が増加しても必要とする回路の量が増加しにくいという効果が得られる。

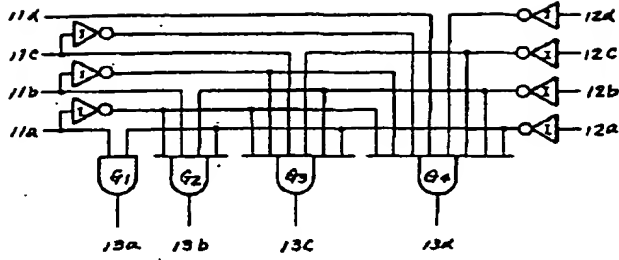
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の割込制御方式を用いる回路構成を示すブロック図、第2図は第1図における優先信号判別回路の回路図、第3図は本発明一実施例を用いる回路構成を示すブロック図、第4図は第3図におけるエンコーダ回路の回路図である。

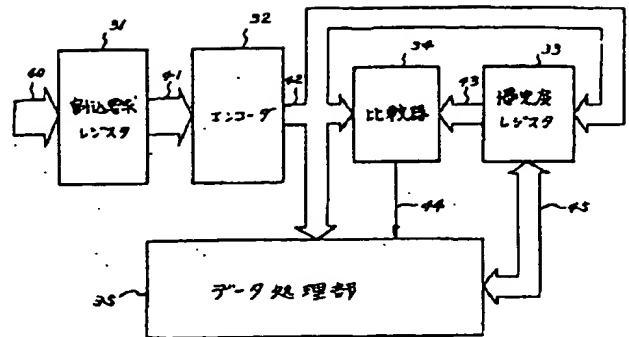


第1図

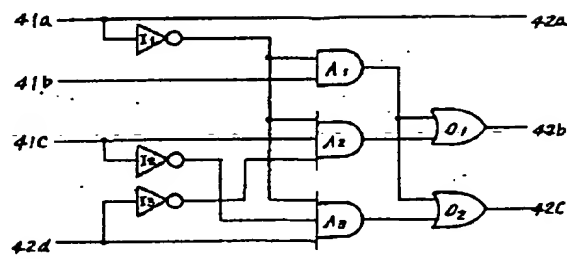




第 2 図



第 3 図



第 4 図

## 特許法第17条の2の規定による補正の掲載

昭和 57 年特許願第 208863 号(特開 昭 59- 99553 号, 昭和 59 年 8 月 8 日 発行 公開特許公報 59- 996 号掲載)については特許法第17条の2の規定による補正があったので下記のとおり掲載する。 6 ( 3 )

Int. Cl. 4	識別記号	庁内整理番号
G067 9/46	320	A-8120-5B

## 手 続 補 正 書 (自発)

61.12.-5  
昭和 年 月 日

特 許 庁 長 官 殿

1. 事件の表示 昭和 57 年 特 許 願 第 208863 号  
2. 発明の名称 創込制御回路  
3. 補正をする者

事件との関係

出 願 人 万 式  
東京都港区芝五丁目33番1号  
(423) 日本電気株式会社  
代表者 関 本 忠 弘

4. 代 理 人

〒108 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル  
日本電気株式会社内  
(6591) 弁理士 内 原  
電話 東京 (03) 458-3111(大代表)  
(連絡先 日本電気株式会社 特許部)



## 5. 補正の対象

「発明の名称」と明細書の「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」および「図面の簡単な説明」の欄

## 6. 補正の内容

イ. 「発明の名称」を「創込制御回路」に訂正します。

ロ. 「特許請求の範囲」を別紙のように訂正します。

ハ. 明細書第1頁16行目, 第2頁1行目, 第10頁15行目, 第20頁15行目の「方式」を夫夫「回路」に訂正します。

ニ. 明細書第8頁1行目の「11d」を「11c」に訂正します。

ホ. 明細書第10頁17行目～第11頁5行目の記載を、「本発明は、入力した創込信号の優先度をコード化して第1のコード情報を発生する第1の回路と、データ処理装置が処理中の創込プログラムの優先度に対するコード化された第

2のコード情報を記憶する第2の回路と、この第2の回路に記憶された第2のコード情報と前記第1のコード情報とを比較する第3の回路とを備え、前記第1のコード情報が前記第2のコード情報より優先度が高いとき前記第2のコード情報を退避したのち前記入力した創込信号の創込プログラム処理を開始することを特徴とする。」に訂正します。

ヘ. 明細書第11頁9行目の「方式を用いる」を削除します。

## 7. 添付書類の目録

(訂正) 特許請求の範囲 1通

代理人 弁理士 内 原 哲



(別紙)

## (訂正) 特許請求の範囲

入力した割込信号の優先度をコード化して第1のコード情報を発生する第1の回路と、データ処理装置が処理中の割込プログラムの優先度に対するコード化された第2のコード情報を記憶する第2の回路と、この第2の回路に記憶された第2のコード情報と前記第1のコード情報とを比較する第3の回路とを備え、前記第1のコード情報が前記第2のコード情報より優先度が高いとき前記第2のコード情報を遮断したのち前記入力した割込信号の割込プログラム処理を開始することを特徴とする割込制御回路。